



目黒労協 第73回定期大会を開催

2024年11月16日(土)午後1時から、土建目黒会館にて、目黒労協第73回定期大会が開催され、代議員19名＋役員など30名が参加。1年間の経過報告、決算報告、2025年運動方針、新役員選出など、約3時間にわたって活発な討論が行われました。

議長選出

大会議長には目黒区職労選出の代議員を提案、会場の拍手で選出となりました。

労協議長挨拶

冒頭では、課税基礎控除や社保加入要件などの103万円・106万円の壁について、実質賃金減少を止めることが必要。目黒労協は最低賃金引き上げに長年取り組んできた。労働法制改悪の動きに注視し、地域共闘を進めていこう、と労協議長があいさつしました。

来賓挨拶：東京地評より

コロナ対策で中断していた来賓挨拶ですが、今回は東京地評を招待し、挨拶をいただきました。東京地評・事務局次長の阿久津さんは、総選挙の結果は、労働組合の「得意分野」である「生活改善につながる大幅賃上げ」「可処分所得を増やすこと」が求められていると分析し、自治体への働きかけも旺盛に行おう、と述べられました。

議案・経過報告

1年間を振り返る経過報告は、労協・事務局次長より。「日本の異常な低賃金が多く国民に認識された」そして「自公政権が少数与党になった」1年間だったと振り返り、目黒労協は旗開きから毎月の最賃宣伝など様々に取り組み、特に24春闘では全医労東京医療センターのストライキに、地域からも多数の支援ができた。しかしコロナから引き続き各労組への訪問活動ができず、会社移転などで加盟労組も減少、労協のみならず区内団体で役員高齢化が進んでおり、「若返り」が課題。最賃引上げへ具体的な取り組み提案を検討し、公契約条例審議会への取り組み強化も、と報告。

決算報告・監査報告

2024年度は、繰越金ほぼゼロからのスタートで、収入減で節約を余儀なくされるなどの、苦しい運営を報告。会計監査報告でも、支出コントロール厳しいので、「会費増えるように加盟労組も努力を」と。



3/1 東京病院前集会：労協ニュース4/1号より

運動方針 提案

今後1年の運動方針は、労協事務局長より。社会保険加入「106万・130万円の壁」問題、週20時間以上働く労働者は収入に関わらず社保加入とされ、事業者の社会保険料負担が増える。これとの関連がポイントか。また労働基準法の見直しが進められており、「労働者代表」「過半数代表」などを中心とした形が検討されているが、労働組合の交渉権とは違い、これらは意見を聞かれるのみ。今後の対応は情報収集が必要。東京都では、プロジェクトマッピングや大噴水づくり。目黒区ではめぐろ区民センター建て替えや、学校統廃合・保育園など民営化など様々な課題に、一緒に取り組むなど、共闘を迫及していきたい。

財政方針・予算案 提案

「予算案は雑収入30万円を想定しているが、2024年度の実績は17万円程度」と、かなり苦しい予算。毎月の会費、春闘カンパ、従来通りでご協力を、と提起がありました。

代議員による討論

休憩の後、特に質問などはないため、議長指名により、全参加労組・11名の代議員から発言がありました。参加できなかった目黒医療生協労組と、全水道・東水労目黒分会からの文書発言も紹介されました。（詳細は別途大会報告特集号で）

討論のまとめ

事務局長よりまとめ答弁。全体として組合員が減少傾向だが、そういう中で大東通信機より「執行委員会の若返り」報告があった。TVでも転職コマーシャルだらけ。組合員が減っていくと、できることも少なくなる。ぜひ労協加盟労組の支え合いを。加盟費を払っているだけではもったいないので、労協を活用してほしい、と討論のまとめがありました。

役員選挙

選挙管理委員会より報告：定数内立候補者と14名の立候補者名簿が配布され、投票方法は「定数内なら投票省略」規定有。

これを使いたいと提起。議長から凶られ、投票省略、立候補者信任が拍手で確認されました。議長・事務局長・事務局次長・会計は留任となりました。



新旧役員紹介

議長より新旧役員紹介。新役員を代表して土建目黒支部選出の新副議長から、「土建目黒支部書記長でもあるが、労協の取組みも頑張っていきたい」とあいさつがありました。

大会スローガン・大会宣言

それぞれ執行委員（目黒区職労選出）から提案があり、会場の拍手で承認されました。

閉会挨拶・団結ガンバロー

土建目黒支部選出の新副議長より、「引き続き区内共同行動がんばっていこう」と、参加者全員で**団結ガンバロー**！

第72回委員会(25春闘) & 学習会は2月予定です

定期大会・確定闘争と加盟組合の闘い続く

パスコ労働組合、第38回定期大会開催

10月26日(土)、パスコ労働組合の第38回定期大会が開催されました。コロナ禍を経て弊組合の定期大会はWeb、対面のハイブリット開催をしています。その中で、対面会場は全国各地、北は東北から南は九州まで、50名近くの組合員が集合しました。4年前にたった3人だけになったことを思うと、これだけの人数が集まったことに役員は感無量でした。大会終了後にはみなさんお楽しみの?!懇親会も行われ、遠い地にいる支部員も含め、大変盛況に終わりました。(パスコ労組/副議長*労協執行委員)



公務員賃金闘争：区役所＝特区連は11/22未明妥結



11/18 特区連総決起集会：北とぴあ 887名参加

10月9日、特別区人事委員会は、給与に関して公民較差が11,029円あるとして改定率3%の引き上げと、一時金0.2月増(再任用0.1月)勧告を行いました。

しかし、若年層に手厚く初任給を23,900円引上げるのに対して、中堅層には薄く、係長になっていない概ね40歳以降の引上げ額は、わずか1000円です。配偶者の扶養手当の段階的廃止と相まって、この物価高に賃下げになる職員も多数います。初任給を上げれば、昨今の公務員離れは解決するのでしょうか。若年層の大幅賃上げで、それを横引きする会計年度任用職員も大幅賃上げになり、また一

時金の月数も、今年度より定年前職員と同じになったこともあり、再任用より会計年度任用職員になりたいという声も、多く寄せられます。

この間、目黒区職労は特区連に結集して署名活動、要請行動、門前朝ビラ、決起集会等精力的に取り組み、現業職の最低引き上げ額は行政職を上回ることができましたが、高齢期職員の処遇は、勧告を上回ることができず、11月22日未明妥結しました。(目黒区職労/通信員)

特別区人事委員会勧告の概要

☆職員給与の公民格差：11,029円(*民間より低い)、特別給(*民間の一時金)：0.22ヶ月/年間(*同)

- 給与改定 3%引上げ
- 一時金引上げ 年間0.2ヶ月増
- 初任給引上げ I類(大卒程度)：23,800円増
Ⅲ類(高卒程度)：23,900円増
- 平均年間給与 267,000円増
- 扶養手当 3年間で段階的に廃止(*大問題)



11/13 都労連第5波決起集会 東交FBより

次号で11/28 目黒区職労などの定期大会報告を収録予定

各労組大会報告を今後も紹介・掲載していきます。写真や原稿をぜひお寄せください。(目黒労協/教宣部)

ピースウォーク続けています



毎週木曜日 12:20 出発、10月31日、11月7日とも秋晴れの中。20名前後で毎週行進しています。だれでも参加できます。あなたもぜひご参加を！（目黒労協/事務局）



2025年度 秋季年末闘争勝利 総決起集会

JMITU 東京地本・労働者のつといに参加して

10月30日(水)の夜、文京シビック小ホールで行われた、JMITU 東京地本の秋季年末集会に参加しました。まずはこのような集会に、少なくない若者が参加しているんだと感心しました。ただ、今回の寸劇パフォーマンスのテーマが「労働法制改悪反対」で、集会テーマとちょっとちぐはぐな感じ。でもその「改悪」の動きがあるというのは、4つの地域協議会の出し物で、改めてその怖さが印象付けられました。南部地協のパソコン画像トラブルが無ければ、更に良かったですね。景品の抽選会では、自分は今まで当たったことが無いけど、ドキドキするもの。当たったら(*7等)もっとドキドキしました。集会に参加して良かった。



(JMITU 目黒地域支部/通信員)

★集会で話題になった「労働法制改悪」資料、目黒労協 HP (2024/10/30、6/26) に収録しています。

- ①経団連 労使自治を軸とした労働法制に関する提言 2024年1月16日
- ②日本労働弁護団 労働基準関係法制研究会に対する意見書 2024年10月31日
- ③「経団連の『労使協創協議制』構想は従業員代表制への途を開くか？」WEB 労政時報 2024/7/9
- ④「労働者代表制」と労働組合法の狭間を埋める 連合総研新谷 06 など (労協/事務局)

第13回 わくわく子どもまつり 1500人参加で大盛況



11月10日(日)、第13回わくわく子どもまつりが、鷹番小学校を会場に開催されました。ときどき小雨がちらつく天候でしたが、満員の盛況で1500人が参加。設営から片付けまでお手伝い。学校に新型テントが入り、設定も撤収も楽ちんでした。キッチンカーやお弁当屋さんも加わり、従来からの焼きそば・豚汁・ウインナー・じゃがバターなどと合わせ、食べ物も豊富。一番の行列はカラフルな綿あめで、最大時は40分待ちにも。めぐろ労協も労働相談ちらし入りティッシュ配布で参加しました。(目黒労協/事務局)